

平成28年度第1回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成28年5月21日（土） 午前9時30分 ～ 11時10分	
開催場所	加茂文化センター 第1・第2研修室	
担当議員	班代表者	西山 幸千子
	司会者	宮嶋 良造
	報告者	高岡 伸行
	記録者	森本 隆
	班員 (上記以外)	片岡 廣、高味 孝之、谷口 雄一
参加人数	9人	
主な質疑 ・意見等	<p>Q: 小中学校の図書室へのエアコン設置、夏休み期間の工事ではなく、一番暑い7月にかけて使えるように、土日で工事できないか。</p> <p>A: エアコン設置については、議会としても暑くなる前に設置すべきであると委員会でも議論をしたが、入札の日程・工事等の関係で7月の使用は難しい。</p>	
	<p>Q: 加茂プールの廃止については、改修で対応ができないか。</p> <p>A: 加茂プールについては、廃止がよいのかも含め市に何か所のプールがいるか等を検討していく。</p>	
	<p>Q: JR加茂駅の駅員が（7/1～）2人から1人になる、みどりの窓口がなくなるとチラシで知った。市に対して、2人体制の維持を要望する。</p> <p>A: JR加茂駅の2人体制を維持できるように、個人的には議会としても考えていければと思う。 6月議会で議論できればと考える。</p>	
	<p>Q: 防災無線の効果について、外部スピーカー65カ所の威力については、どの程度なのか。窓を閉めていると聞こえないが。</p> <p>A: 基本は、戸外におられる方が聞こえるようになっている。室内では聞こえにくいところがある。戸別受信機が地域長・副地域長などに貸与している。個別受信機も含めてその他の連絡網、携帯メール等の手段で補完している。 8時、17時の放送は確認用なので小さい音のレベルで放送している。緊急時は、最大音量になるので、今より聞こえる範囲は拡大する。</p>	
	<p>Q: 地域長に戸別受信機が設置されているが、留守のときはどうなるのか。</p> <p>A: 登録されている電話に情報がくる。</p>	
	<p>Q: クリーンセンターが平成30年に稼働する。鹿背山（府道）の急カ</p>	

ーブ等があり、実際にごみ収集車が行き交うようになると事故など不安があるので整備してほしい。

A: 平成28年に調査費が計上された。平成30年までの供用開始までには整備できるように協議を進めている状況。

Q: 今年選挙権が18歳以上となる。議員との対話会等できないか。それにより、有権者としての意識向上につながると考えるが、議会としてその予定などはないか。

A: 市内の2高校(木津、南陽)に期日前投票所を1日だけだが設置する取り組みが予定されている。

公平公正を保ちながら、18歳以上の選挙権変更に向けての取り組みを議会としても進めていきたい。城陽市のように、フレッシュ議会を開催しているところもあり、それらも参考にしていきたい。

Q: 木津は地域長と副地域長が2名決まっているが、加茂と山城は副地域長の数が複数になっている。市は報酬を1名に限定すると聞く。複数いる副地域長がいる地域は、無報酬で活動することになるが、検討できないか。

A: (議会として関われる範囲があるが)3町が合併した時に取り組みを調整したが、まだ統一されていない。行政は10年を機に運用を統一していく方向で進めている。

議会としても「意見」として伝える。

Q: 犬の糞の放置があり、前回の議会報告会で質問したところ、2万円の罰金条例があるとの回答をもらったが、実例があるのかなど、その後どうなっているのか。

改善されていない。広報にのせる等対応が必要ではないか。

A: 「木津川市空き缶等のポイ捨て、飼い犬の糞放置、落書きのない美しいまちづくりを推進する条例」(H19年)がある。「重点区域」をきめて、違反すると2万円以下の罰金の内容である。担当にも伝える。

Q: 自主防災の取り組みをしているが、メンバーが集まらない。

梅美台、州見台はまだ「自主防災会」のような組織がないので、消防が直接対応している。取り組んでいる地域では高齢の方も参加している。

全地域を消防が対応することはできないのか。

A: 自主防災会は、26ほどの組織がある。地域は地域で守らないと緊急時の対応ができない。高齢化になっている課題もあるが、組織は維持する必要がある。

熊本地震などを見ても、地域での助け合いの重要性を改めて考えさせられる。どうやって地域や家族を守って行くか、などの課題に常に取り組んで行くことが必要である。

Q: 災害の問題で、市内の活断層の地図はどうなっているのか。市のハザードマップを再配布したらどうか。

耐震診断の組織が市にあるのか。どこに申し込むのか。

A: ハザードマップは戸別配布されている。

耐震住宅診断の件については、府・市の補助制度がある。詳細は、都市計画課に問い合わせしてほしい。

Q: 平成22年の慰安婦問題で意見書を市として提出したが、その後撤回したのか。他府県では撤回したところがあると聞くが。

A: 過去に厚生委員長としてまとめた時に携わったが、意見書は今も有効だと思っている。

議会の中でも退席が1人・反対が2人、結果は賛成多数で可決された。撤回の意見があがってきたら、議論していく。

Q: 農業委員会（説明資料 P17）の条例改正について、国で決まったものを市議会で諮るのはどうなのか。決まったものに反対する理由はなぜか。

今までの農業委員では農地の保全ができなかった。農地をみてもらう人を増やすことが必要。新しくできた最適化推進委員の方が動きやすいようにしてほしい。

A: これまでの「選挙」が必要ではないか、選挙から任命にすることに問題があると言う趣旨の反対討論である。最適化推進委員のフォローは必要だとの認識は共通である。

Q: ポスターを貼る場所の規制はあるのか。

A: ポスターだけでなく広告物等は広告条例、公共施設の所有者で決まりをそれぞれで作っているの、市がすべて管轄しているものではない。

Q: 一般会計など予算を国会では官僚が作るが、市は誰がつくるのか。

A: 予算の編成権、執行権、人事権は、市長にあり、予算案は、市が作成する。

議会は、予算特別委員会3日間で論議しチェックする。議会での対応は、予算を下げる修正動議の権限はあるが、予算を増やせない。

Q: コミュニティバスの運行経路は今のルートしかできないのか。

A: 合併時の取り決めで継続している。加茂はデマンドバス（予約型）になってきたルートがある。

木津は奈良交通が朝夕のみ運行。昼間乗降客が少ない時間帯にコミバスとして行政が運用している。

デマンドバス、鉄道と民営バスなど公共交通もうまく利用する考えで進めている。

	<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採職員の研修先として自衛隊の体験入隊については、国論が分かれる中、税金をつかうことには疑義をもっている。 ・新任職員の自衛隊への入隊は大事だと思う。 ・飼い犬の糞条例については、「重点区域に指定」される必要等のことがあるので、地域で声をかける等のことが大事だと思う。 ・積極的に議会の傍聴に参加すれば良い。議員も緊張感を持つのでは。
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	<ul style="list-style-type: none"> ・JR加茂駅、駅員が2人→1人になること（7/1～）、みどりの窓口がなくなることに對して、2人体制の維持を要望する。 ・加茂プールは地域の幼い子どもたちも多く利用している。廃止ではなく改修を要望する。 ・副地域長の人数変更については、慎重な対応を要望する。
その他特記事項	

上記のとおり、報告します。

平成28年6月6日

木津川市議会議長 倉 克伊 様

平成28年度第1回議会報告会

第1班 代表者 西山 幸千子 ㊞